

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公表番号】特表2011-521950(P2011-521950A)

【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-511707(P2011-511707)

【国際特許分類】

A 0 1 N 59/00 (2006.01)
 B 0 1 J 20/18 (2006.01)
 A 6 1 L 2/16 (2006.01)
 A 6 1 L 2/18 (2006.01)
 A 6 1 L 2/20 (2006.01)
 A 6 1 L 9/01 (2006.01)
 C 0 2 F 1/50 (2006.01)
 C 0 2 F 1/76 (2006.01)
 A 0 1 P 3/00 (2006.01)
 A 0 1 N 25/08 (2006.01)
 C 0 1 B 11/02 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 59/00 A
 B 0 1 J 20/18 B
 A 6 1 L 2/16 Z
 A 6 1 L 2/18
 A 6 1 L 2/20 G
 A 6 1 L 9/01 F
 C 0 2 F 1/50 5 1 0 A
 C 0 2 F 1/50 5 2 0 B
 C 0 2 F 1/50 5 2 0 L
 C 0 2 F 1/50 5 2 0 P
 C 0 2 F 1/50 5 3 1 M
 C 0 2 F 1/50 5 4 0 F
 C 0 2 F 1/76 A
 A 0 1 P 3/00
 A 0 1 N 25/08
 C 0 1 B 11/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月1日(2012.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゼオライトに吸着された二酸化塩素を含む液体を有する、組成物。

【請求項2】

前記ゼオライトは、疎水性である、請求項1に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ゼオライトは、親水性である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ゼオライトは、酸を用いた前処理が施されている、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトに、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して5 重量%より大きい量となるように吸着される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトに、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して10 重量%より大きい量となるように吸着される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトからの抽出を介して復元可能であって、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して5 重量%より大きい量の前記二酸化塩素が、復元可能である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトからの抽出を介して復元可能であって、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して7 重量%より大きい量の前記二酸化塩素が、復元可能である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトからの抽出を介して復元可能であって、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して10 重量%より大きい量の前記二酸化塩素が、復元可能である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトへ、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して2 重量%より大きい量となるように吸着される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトへ、吸着処理後の前記ゼオライト重量に対して7 重量%より大きい量となるように吸着される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

ゼオライトに吸着された二酸化塩素を含む液体を有する組成物を生成する工程を備える、方法。

【請求項 13】

前記ゼオライトは、疎水性である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記ゼオライトは、親水性である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 15】

前記組成物を生成する工程の前に、前記二酸化塩素を含むガス蒸気を乾燥させる工程をさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】

前記組成物を生成する工程の前に、前記ゼオライトを乾燥させる工程をさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 17】

前記二酸化塩素に圧力を加える工程をさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 18】

前記二酸化塩素を前記ゼオライトに吸着する工程をさらに備える、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 19】

前記液体は、非水性である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 20】

前記液体は、水性である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 2 1】

前記二酸化塩素は、前記ゼオライトに、前記二酸化塩素を含むガス蒸気から吸着される、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記二酸化塩素は、前記液体に前記二酸化塩素が含まれている間に、前記ゼオライトと接触される、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 2 3】

前記ゼオライトは、前記液体と接触されるとき、乾燥状態となっている、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記ゼオライトは、前記液体に含まれる前記二酸化塩素と接触されるとき、乾燥状態となっている、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記ゼオライトから前記二酸化塩素の少なくとも一部を抽出する工程をさらに備える、請求項 1 2 に記載の方法。